



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和6年6月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和6年6月25日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 6月29日(土)に渋川駅前七夕フェスティバルを開催します(資料1)
- 2 UM・エコプロジェクトの実証実験Step3で
市民によるマイクロモビリティ体験を実施します(資料2)
- 3 令和6年度「農業ふれあい体験事業」を実施します(資料3)
- 4 「収入保険制度」に新たに加入した農業者に対し
農業経営安定支援対策として助成金を交付します(資料4)
- 5 渋川市全体でハワイアンムードの高揚を図る
「H o a l o h aプロジェクト」に取り組みます(資料5)
- 6 公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン(令和6年度第1弾)を
実施します(資料6)
- 7 保育のやりがいと魅力を感じてもらう「保育のお仕事体験ツアー(第1弾)」を
実施します(資料7)

その他資料提供

- ・「女性の健康支援セミナー」を市職員を対象に開催します(資料8)

○次回開催予定

日時：令和6年7月1日(月) 午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
6月24日(月)	10:00	予算常任委員会	市役所本庁舎	議会事務局
6月25日(火)	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
6月26日(水)	10:00	6月市議会定例会:閉会	議場	議会事務局
6月27日(木)	9:00 10:45 13:15 13:30 17:00	令和6年度渋川市及び渋川地区広域市町村圏振興整備組合職員表彰式 群馬県国民健康保険団体連合会令和5年度決算監査 渋川市高齢者福祉推進委員会 第74回“社会を明るくする運動”渋川地区推進委員会(14:30～市長出席) 子持産業振興(株)取締役会	市役所本庁舎 市役所本庁舎 市役所本庁舎 金島ふれあいセンター 子持行政センター	人事課 保険年金課 高齢者安心課 地域包括ケア課 農政課
6月28日(金)	9:30 11:00 13:30 16:30	長寿者顕彰 広域組合行政不服審査会委嘱式 広域組合管理者・副管理者会議 渋川地区危険物安全協会第66回定例総会及び懇親会	市内 広域組合大会議室 広域組合大会議室 プレヴェール渋川	高齢者安心課 広域組合 広域組合 危機管理室
6月29日(土)	10:30	渋川駅前七夕フェスティバル	渋川駅前通り・駅前広場	産業政策課
6月30日(日)	8:30 9:30	TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 2024 in 渋川伊香保 開会式・セレモニアルスタート 渋川市女性防火クラブ・渋川市自主防災リーダー会 合同健康生活支援講習及び炊き出し訓練(10:40～市長出席)	渋川市総合公園野球場ほか 赤城公民館	スポーツ課 危機管理室
7月1日(月)	9:00 13:00 14:30	庁議 市長定例記者会見 第74回“社会を明るくする運動”内閣総理大臣及び群馬県更生保護女性会員からのメッセージ伝達式	市役所本庁舎 市役所本庁舎 市役所本庁舎	政策戦略課 広報室 地域包括ケア課

資料1

6月29日(土)に渋川駅前七夕フェスティバルを開催します

渋川駅前七夕フェスティバルを、6月29日(土)に開催します。
渋川駅前七夕フェスティバルは、今回5年目を迎える渋川青年会議所主催のイベントですが、今回は初めて渋川駅前通りを歩行者天国にして開催します。

1 経 緯

本イベントは、新型コロナウイルスが猛威を振るい、不安や不満を抱えて生活している人が多かったときに、明るい希望の光と子どもたちの笑顔を街に増やしたいという思いから、令和2年度に開始しました。当時は、市内の子どもたちから短冊を募集し、渋川駅前通りに七夕飾りを展示しました。

今回5年目を迎え、渋川市内の子どもたちから願い事を書いた短冊を集め、渋川駅前通りを華やかに飾り、観覧する皆さんにこの街の元気を感じていただきます。また、地域コミュニティを育むきっかけとなるように、学生や地域の皆さんに協力いただき、イベントや飲食ブースを出すことによって、来場者に地域の交流の大切さやお祭り気分の楽しさを感じていただけるような、活気溢れる七夕事業を開催します。

2 日 時 令和6年6月29日(土) 午前10時30分～午後3時
※雨天決行、荒天中止

3 会 場 渋川駅前広場
渋川駅前通り（渋川駅北信号から平沢川までの間）

4 内 容

渋川駅前通りに、事前に渋川市内の園児(3歳～5歳)と園児保護者、小学生(1年生～3年生)から募集した短冊を展示します。また、渋川駅前通りを歩行者天国にし、キッチンカーやテントブースで出店し、飲食物や物品の販売を行い、ワークショップブースを設けます。さらに、渋川駅前広場では、ステージを設置し、ダンスや催しで会場を盛り上げます。

(1) 飲食ブース

①露店

キッチンはらぺこ ・ホットドック	まな板や 和HA ・唐揚げ	鉄板焼き 一慶 ・イカ焼き
ジャンクスイート ・かき氷	うなぎ炭火焼肉 宮川 ・おにぎり	Lei ・サンドイッチ
パブ尚 ・冷やしたぬきうどん	frutta fredda ・アップルパイ	有限会社 越中屋 ・鮎塩焼き
群馬県養豚協会青年部 ・焼きそば	クルンテープカフェアン ドエスニック ・トムヤムクン	菓子の木工房BonoBono ・焼き菓子

②キッチンカー

ぷるりん ・コンニャクドリンク	韓国キッチンカーモゴモゴ ・ヤンニョムチキン	ボヌールコーヒー ・クレープ
金魚 ・馬ハラミ串	鶏幸 ・焼き鳥	渋川29バル ・串焼き
グローバルピッグファーム ・豚肉	鉄板哲学 ・ホルモン	fufufu-soup ・おにぎり

(2) ワークショップ、展示

群馬県建築士会渋川支部 ・ミニチュアハウス作り	渋川アロマフォルトナータ会 ・バスボール作り等	小さな駄菓子屋さんIrisawa ・くじ引き、型抜き等
J Rブース ・パッチワーク	渋川市政策戦略課 ・マイクロモビリティ体験	渋川市観光課 ・頭文字Dマンホール展示

(3) ステージイベント

雷太鼓 ・和太鼓演奏	E-chan's Dance Crew ・ダンス発表	渋川女子高等学校書道部 ・書道パフォーマンス
---------------	-------------------------------	---------------------------

5 主催・後援

(1) 主 催 一般社団法人渋川青年会議所

(2) 後 援 渋川市

6 記者会見出席者

一般社団法人渋川青年会議所

理事長 小林 有斗（こばやし ゆうと）さん

七夕事業実行会議 議長 南雲 大輔（なぐも だいすけ）さん

■問い合わせ先

産業観光部長 金井 裕昭（内線4899）

担当：産業政策課（電話0279-22-2596）

課長 山田 量俊（内線4890）

商工・産業振興係長 堀田 章恵（内線4895）

資料2

UM・エコプロジェクトの実証実験 Step 3で 市民によるマイクロモビリティ乗車体験を実施します

渋川市と(株)山田製作所によるUM・エコプロジェクトの取り組みとして、6月29日(土)に開催される「渋川駅前七夕フェスティバル」の会場で、市民によるマイクロモビリティ乗車体験を行う「UM・エコプロジェクト Step 3」を実施します。

1 目 的

渋川市は、次世代マイクロモビリティを開発する(株)山田製作所と連携し、高齢者の移動支援、公共交通、環境対策をはじめとする課題解決の一助とするため、開発段階における安全性等の確認を行う実証実験に協力しています。

このたび、6月29日(土)に開催される渋川駅前七夕フェスティバルに出展し、市民等が実際の交通環境で使用した際のモニタリングや特定小型原動機付自転車への理解啓発を目的とする「UM・エコプロジェクト Step 3」を実施します。

2 日 時 令和6年6月29日(土) 午前10時30分～午後3時
(雨天時は、車両展示のみ、または出展を行わない場合があります)

3 場 所 受付：渋川駅前七夕フェスティバル会場内
走行：渋川駅前七夕フェスティバル会場隣接エリア



4 対 象 者 16歳以上の人 (飲酒状態の人を除く)

5 体験の流れ

- (1) コマ15分の枠で2組まで予約受付
- (2) 道交法の説明と、車両の操作説明等で5分間、スタッフ先導のもと公道での乗車体験は10分間
- (3) 乗車体験後、アンケートを実施

6 基本的事項

- (1) 使用車両 (株)山田製作所製 Lactivo (ラクティボ)
乗車体験車両：2台、先導車両：1台
- (2) 仕様
 ・分類 特定小型原動機付自転車
 ・速度 最高速度：12km/h、歩道走行モード：6km/h
 ・走行距離 1回の充電で30km
 ・免許 不要
 ・年齢 16歳以上
 ・ヘルメット 努力義務
- (3) その他
 ・努力義務とされている乗車用ヘルメットの着用については、交通事故の被害を軽減する観点から、ビブスと併せて着用する
 ・自賠責保険、任意保険（対人・対物・自身無制限）については、(株)山田製作所で加入済み

7 スケジュール

順 序	内 容	時 期
走行テスト	渋川市内一般道で走行テストを実施 ・安全講習会開催（市職員・山田製作所・群馬県警察）	R5. 7. 31
Step 1	市職員に限定した使用 ・渋川市役所本庁舎～第二庁舎間の移動	R5. 10. 23 ～25
Step 2	市職員に限定し、使用範囲を拡大（制限緩和）して使用 ・業務で近距離の移動	R6. 5. 7 ～24
Step 3	市民等多くのユーザーを想定して限定したエリアで使用 ・イベント時における試乗体験ブースの設置	R6. 6～

緩和

参考

UM・エコプロジェクトとは

『Universal (みんなの) Mobility (乗り物)』
 『Useful (便利な) Moving (移動)』
 『エコ：化石燃料を使わない電気で充電』
 渋川市と(株)山田製作所は、人と環境に優しい
 「UM・エコプロジェクト」に取り組みます

このプロジェクトは、山田製作所の「個人の移動をもっと自由に」という想いと、渋川市の“誰もが生き生きとした人生を送ることができる共生社会実現”に向けた取り組みが合致し、人と環境に優しい「UM・エコプロジェクト」として推進するものです。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）
 担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）
 課長 小野 篤史（内線2420）
 未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

令和6年度「農業ふれあい体験事業」を実施します

農業未経験者が、経験豊富な農業者から野菜等の栽培方法の指導を受け、気軽に農業を体験することにより、新規就農や遊休農地の解消につなげるため、「農業ふれあい体験事業」を実施します。

1 概要

農地法の改正により、令和5年4月1日から農地取得時における「下限面積要件」が撤廃され、農業に従事できる機会が拡大されましたが、遊休農地の解消は進んでいない状況です。

現在、渋川市は、農業者以外の人々が農作物の栽培を通じて農業に対する理解を深めてもらうことを目的に「市民農園」を開設していますが、この市民農園を利用するには、自分で農機具などを用意する必要があります。そこで、農業未経験の人が気軽に農業に触れる機会を提供するため、新たに「農業ふれあい体験事業」を実施します。

あらかじめ農機具等が準備された農園で、経験豊富な農業者から直接野菜等の栽培方法の指導を受けることができるため、これまで農業に触れる機会がなかった人でも安心して農業体験を行うことができます。

この事業を通じて、多くの市民が農業に触れるきっかけづくりを行うことにより、新規就農者の確保や遊休農地の解消、活用につなげていきます。

2 実施方法 業務委託（委託先：北群渋川農業協同組合）

3 期間 令和6年8月1日（木）～令和7年2月28日（金）

4 場所 渋川市半田地内の農地（体験者用の駐車場あり）
※面積は約2,000㎡

5 体験内容

- （1）野菜（4種類）ごとに区画を分けて実施
- （2）種まき（ダイコン、ハクサイ）
- （3）苗の植え付け（ブロッコリー、キャベツ）
- （4）土寄せ、追肥、マルチ張り、除草、消毒（殺菌）など
- （5）収穫

※収穫までに、アドバイザー（農協職員または農業者）が6日程度の指導を行うこととしていますが、作物の生育状況により作業の補助は随時行う予定です

6 対象者 市内・市外を問わず、農業未経験者で農作業に関心のある人
※家族やグループでの参加も可

7 募集人数 30組程度（申込み多数の場合は抽選）

8 参加費用 無料（作業靴や軍手などの作業に必要となるものは各自で準備）

9 申込期間 令和6年7月1日（月）～16日（火）
※申込者には、7月下旬に作業日程や作業内容などについて説明会を実施します

10 申込方法

①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤グループで参加の場合は参加人数を、電子メール(nousei@city.shibukawa.gunma.jp)または電話(0279-22-2593)で農政課へ。

※グループで参加の場合は代表者のみ申し込んでください。

11 周知方法

広報しぶかわ(7月1日号)、市ホームページ、市公式LINE、X(旧ツイッター)などで周知します。

12 その他

(1) 栽培する農作物(野菜など)の種苗は市が用意します。

(2) 体験者には、主にコミュニケーションアプリ「LINE」を通じ体験日程などを連絡します。(グループ参加の場合は代表者へ連絡します)

体験日に欠席した場合は、体験内容や作業工程を動画撮影し案内します。

13 記者会見出席者

北群渋川農業協同組合

・常務理事 加藤 幸永(かとう よしひさ)さん

参考

1 栽培スケジュールの例

栽培品目	農業ふれあい体験事業								
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ブロッコリー			定植 △	土寄せ ○		収穫 □			
ダイコン			種まき △			収穫 □			
ハクサイ			種まき △			収穫 □			
キャベツ		定植 △	土寄せ ○			収穫 □			

2 令和5年4月1日農地法の一部改正(下限面積要件)について

農地法の一部改正により、農地取得時における経営農地の下限面積要件(渋川市農業委員会では3,000㎡)は廃止されました。ただし、経営面積が2,000㎡に達する場合は、営農計画書提出と農業委員との面談が必要です。

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭(内線4899)

担当: 農政課(電話0279-22-2593)

課長 山本 泰浩(内線4971)

振興係長 川田 美穂子(内線4972)

資料4

「収入保険制度」に新たに加入した農業者に対し 農業経営安定支援対策として助成金を交付します

渋川市は、市内農家の経営安定を図るため、「収入保険制度」に新たに加入した農業者に、助成金を交付します。

農業者が加入する「収入保険制度」は、農作物等の市場価格下落による収入の落ち込みなど、農業経営でのさまざまなリスクに対して補償が受けられることから、安心して農業を続けていくための大きな支えとなります。

1 概 要

農業者が加入する「収入保険制度」は、農作物等の市場価格下落による収入の落ち込みなど、農業経営でのさまざまなリスクに対して補償が受けられることから、安心して農業を続けていくための大きな支えとなります。渋川市は、「収入保険制度」に新たに加入した農業者に、3年間に渡って段階的に助成金を交付し、市内農家の経営安定を図ります。

2 助成対象者

下記のいずれかに該当する者を対象とします。

- (1) 令和6年1月2日～令和9年1月1日の期間に収入保険に新規加入した者
- (2) 上記(1)に該当する者であって、令和7年1月2日～令和10年1月1日の期間を2年目の責任開始日とする収入保険に継続加入している者
- (3) 上記(2)に該当する者であって、令和8年1月2日～令和11年1月1日の期間を3年目の責任開始日とする収入保険に継続加入している者

3 助成金額

新規加入から3年間助成金を交付し、段階的に補助限度額を下記のとおりとします。

- ①助成対象者(1)＝収入保険制度の掛け捨て保険料の額(上限5万円)
- ②助成対象者(2)＝収入保険制度の掛け捨て保険料の額(上限3万円)
- ③助成対象者(3)＝収入保険制度の掛け捨て保険料の額(上限1万5,000円)

4 申請手続

農業者の負担軽減及び事務の効率化のため、収入保険を管轄している「NOSA I ぐんま」へ、申請書の受付から助成金の交付までを委託します。

そのため、助成金申請希望者には、収入保険制度の加入申請時に、「委任状兼誓約書」を「NOSA I ぐんま」へ提出してもらいます。

5 申請受付期間 令和6年7月1日～令和11年3月31日

6 周知方法

「NOSA I ぐんま」と協力して周知するほか、「広報しぶかわ」や市ホームページに掲載します。

7 予算額 100万円(新規加入者20件分(見込み)) ※令和6年度一般会計当初予算にて措置済

農業者経営安定支援事業の対象期間等について

○新規加入後、継続加入した対象者に3年間、段階的に補助金を交付

●=NOSAIぐんまにとりまとめた申請書を市に提出してもらうタイミング

保險期間

産業観光部 部長 金井 裕昭 (内線4899)

担当：農政課（電話0279-22-2593）

課長 山本 泰浩 (内線4971)

振興係長 川田 美穂子 (内線4972)

渋川市全体でハワイアンムードの高揚を図る 「H o a l o h a プロジェクト」に取り組みます

今年で26回目の開催となる「伊香保ハワイアンフェスティバル」。渋川市は、このイベントをきっかけに、市民をはじめとする多くの皆さんにハワイへの理解を深め、親しみを持っていただくための「H o a l o h a プロジェクト」に取り組みます。期間中、さまざまな取り組みを行い、渋川市全体でハワイアンムードの高揚を図ります。

1 概 要

渋川市は、アメリカ合衆国ハワイ郡と姉妹都市提携を結び、教育・産業・観光などの分野での相互交流を通じて、多文化共生社会を推進しています。

ハワイ郡との交流の一つとして行われる「伊香保ハワイアンフェスティバル」は、今年で26回目の開催になります。渋川市は、このイベントをきっかけにして、市民のハワイへの理解を深め、親しみを持ってもらい、市全体で「伊香保ハワイアンフェスティバル」を盛り上げることで、新たなシビックプライドの醸成を図りたいと考えています。

そこで、令和6年度から、7月を「ハワイアン月間」と位置づけて、渋川市全体でハワイアンムードを高揚させるための「H o a l o h a（ホアロハ）プロジェクト」に取り組みます。

※『H o a l o h a（ホアロハ）』とは、ハワイ語で大切な人、最愛の人、お友達という意味です

2 プロジェクト期間 令和6年7月1日(月)～8月4日(日)
※プロジェクトにより開催期間が異なります

3 渋川市主催プロジェクト

- (1) 市職員がアロハシャツを着用して勤務し、ハワイ郡との友好関係をPRします
- (2) 市公用車にステッカーを貼り
ハワイアンフェスティバルを
PRします



(3) 本庁舎市民ホールでハワイ関連の展示などを行います

- ①ハワイの児童が制作した絵画のスライドショーの展示
- ②国際交流の経過に関する展示
- ③ハワイアンフェスティバルに関する展示
- ④ハワイ郡に向けた『市民参加型メッセージアート』の制作・展示



※7月22日(月)から制作を開始。
下絵の付いたキャンバスに、
会場来場者がペイントし、
作品を完成させます

◀メッセージアートのデザイン案

(4) 渋川市内公共施設などでハワイアンミュージックを流したり、市内にのぼり旗を設置したりして、ハワイアンフェスティバルを周知します

(5) 学校給食でハワイメニューを提供し、ハワイの文化を学びます

- ①赤城・北橘地区(7月2日(火))=ロコモコ丼など
- ②渋川(渋川北中学校を除く)・古巻・豊秋・伊香保地区(7月11日(木))=チキンロングライススープなど
- ③渋川(渋川北中学校)・金島・小野上・子持地区(7月12日(金))=モチコチキンなど

(6) ハワイアン関連の画像で装飾した名刺デザインを作成し、市のホームページでダウンロードが可能なテンプレートを公開します



4 民間協力プロジェクト

(1) 「日本のまんなか へそのまち 渋音 UKIUKI LIVE ♪」でウクレレやフラダンス体験を行います。

- ・日時：7月21日(日) 正午～午後6時
- ・会場：渋川駅前広場

(2) 「渋川まちなかうたごえサロン」でハワイアンミュージックを演奏します

- ・日時：7月21日(日) 午後3時～4時30分
- ・会場：中央公民館

(3) 市内飲食店などでハワイメニューを提供します

- ・earth cafe=ハワイ風枝豆
- ・地酒屋ぽん=ポキ・ポキ井
- ・Lei=ロコモコ
- ・ジャンクスイート=チョコミントかき氷、ハワイアンピザ

(4) 市内飲食店などでパンケーキが味わえます

- ・まな板や和HA
- ・手しごと酒家 鶴
- ・Cafe&DiningBar Vingtie
- ・松むら
- ・カフェレストラン ベアーズレイ
- ・博多もつ鍋 KINGYO
- ・ホルモン中々
- ・わが家の洋食と酒家ふじみ
- ・ジャンクスイート
- ・桑野屋
- ・Lei
- ・錦光堂本店 (物販のみ)
- ・渋川地区名産品センター (物販のみ)

※提供期間は店舗によって異なります

(5) JR 渋川駅

- ・渋川駅装飾：改札前の装飾、ホームの装飾・横断幕掲出、待合室の装飾・モニター動画放映、黒板アート
- ・SL運行時：ハワイアンにちなんだおもてなしでお出迎え
- ・駅社員のアロハシャツ着衣：7月1日(月)～8月4日(日)
- ・首都圏でのPR

5 第26回伊香保ハワイアンフェスティバル

日本で唯一、旧ハワイ王国の史跡が残り、姉妹都市として都市交流を続ける伊香保温泉ならではのイベントです。今年は、7年ぶりにフラコンペティション(競技)が行われます。

(1) 期 間：8月1日(木)～4日(日)

(2) 会 場：メインステージ=渋川市営物産駐車場

コンペティション会場=渋川市民会館(8月3日(土)・4日(日)開催)

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭(内線4899)

担当：観光課(電話0279-22-2873)

課長 西脇 正悟(内線4880)

観光振興係長 石坂 崇(内線4881)

公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン (令和6年度第1弾)を実施します

渋川市は、自家用車を使用しない「環境に配慮した旅」を促進するとともに、物価高騰の影響を受ける観光業及び交通事業者を支援するため「公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン」の令和6年度第1弾を実施します。

第1弾の実施期間は、令和6年9月1日(日)～9月30日(月)で、宿泊予約の受付は参加施設のホームページで令和6年7月1日(月)から開始します。

1 目 的

本事業は、「観光と環境をコンセプトとした事業」であり、群馬県外に住所を有する人で、県外から鉄道や高速バス等を使って渋川市を訪れ、市内の対象宿泊施設が企画する「公共交通で行く しぶかわエコ旅パック」で宿泊する人に、渋川市電子地域通貨「渋P a y」3,000ポイントを付与したエコ旅ポイントカードを配付するものです。

普段は自家用車を利用する県外旅行者向けに、公共交通機関を利用して渋川市に来てもらうことで、自家用車では味わえない新たな魅力を発見してもらうとともに、環境への配慮の意識を高めてもらい、二次交通機関も含めた利用の促進を図り、新たな観光関係需要を喚起し、観光業及び交通事業者を支援するものです。

2 内 容

群馬県外に住所を有する人で、県外から公共交通機関を利用して渋川市内の対象宿泊施設にしぶかわエコ旅パックで宿泊する人に、渋川市電子地域通貨「渋P a y」3,000ポイント(3,000円相当)を付与したエコ旅ポイントカードを配付します。

3 実施期間

- (1) 第1弾(夏)＝令和6年9月1日(日)～9月30日(月)宿泊分
- (2) 第2弾(冬)＝令和7年1月14日(火)～2月20日(木)宿泊分

4 対 象 者

以下の全てに該当する人

- (1) 群馬県外に住所を有する人
- (2) 対象宿泊施設に「しぶかわエコ旅パック」で宿泊予約し、宿泊する人
- (3) 群馬県外から鉄道や高速バス等の公共交通機関を利用した人
- (4) 事前に「エコ旅ポイントカード申請書の記載」及び「関係書類の添付」を完了した状態でチェックインできる人

5 エコ旅ポイントカードの発行手順

- (1) 対象宿泊施設は、しぶかわエコ旅パック予約情報に応じて、必要書類を添えて観光課に渋P a yポイントカードの発行を申請します
 - (2) 観光課は、申請が適正かどうか確認し、エコ旅ポイントカードを準備します
 - (3) 対象宿泊施設の職員は、観光課の窓口で身分証等を提示し、エコ旅ポイントカードを受け取ります
 - (4) 利用者は、事前に「エコ旅ポイントカード申請書」の記載及び「関係書類の添付」を完了した状態でチェックインします
- ※関係書類は、身分証明書及び公共交通機関の利用証明資料の写し

- (5) 宿泊施設の職員が書類を審査し、事前に観光課から受け取ったエコ旅ポイントカードを配付します

6 前年度との変更点

しぶかわエコ旅パックで予約した人をキャンペーン対象者とし、ポイントの付与方法を、宿泊施設のフロントでQRコードを読み取る方法から、あらかじめポイントを付与したエコ旅ポイントカードを、観光課が宿泊施設に配付する方法に変更します。

7 参加施設

現時点で、18施設がキャンペーンに参加する予定です。対象施設は、市ホームページに掲載します。

8 宿泊予約

第1弾のしぶかわエコ旅パックの予約受付は、各宿泊施設のホームページ上で令和6年7月1日(月)から開始します。予約の受付期限は、各宿泊施設に確認してください。

9 ポイントの有効期限

- (1) 第1弾(夏)＝令和6年10月14日(月)まで
- (2) 第2弾(冬)＝令和7年3月6日(木)まで

10 PR方法

1都3県在住者を対象に、(株)リクルートが提供する「じゃらんnet」のメールマガジン配信サービスを利用し、約10万通を配信する予定です。

11 配布ポイント上限

第1弾、第2弾合計で、2,970万円分を配付ポイントの上限とします。

参考

令和5年度の実績

- (1) 実施期間
 - ・第1弾：令和5年9月1日(金)～30日(土)
 - ・第2弾：令和6年1月9日(火)～2月21日(水)
 - (2) 対象宿泊者数 7,042人
 - ・第1弾：2,283人
 - ・第2弾：4,759人
 - (3) 渋Pay配付ポイント 14,297,200pt
 - ・第1弾：配付ポイント 4,566,000pt、アンケートポイント 61,000pt
 - ・第2弾：配付ポイント 9,518,000pt、アンケートポイント 152,200pt
- ※令和6年度は、アンケート回答によるポイント付与は行いません

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭 (内線4899)
担当：観光課 (電話0279-22-2873)
課長 西脇 正悟 (内線4880)
観光振興係長 石坂 崇 (内線4881)

保育のやりがいと魅力を感じてもらう 「保育のお仕事体験ツアー（第1弾）」を実施します

渋川市は、令和6年8月5日(月)から8日(木)にかけて、保育のお仕事体験ツアー第1弾を開催します。これは、過去に保育の仕事に携わっていて復職を希望する人や市内に在住または通学する高校生を対象に、市内の公立の保育所、幼稚園及び認定こども園で保育の仕事を体験してもらい、その魅力を感じてもらうことで保育人材確保につなげるために実施するものです。

1 経 緯

保育現場の人材不足は全国的な問題となっており、渋川市内の施設でも、保育人材の確保に苦慮しています。市には、「今後も保育士が続けられ、ゆとりある生活を送るために、保育士の処遇や労働環境の改善を全力でお願いしたい」との声が寄せられている状況です。

このような保育現場の実状を踏まえ、渋川市は、令和6年度の新規事業として、保育人材確保に向けた総合的な取り組みを進めています。今回の体験ツアーは、この取り組みの一環として、市内の公立施設で保育の仕事を体験してもらうものです。

2 目 的

「保育のお仕事体験ツアー」は、参加者に実際に保育のお仕事を体験してもらった上で、保育の仕事の魅力を感じてもらうものです。過去に保育の仕事に携わっていて、復職を希望する人については、保育現場への復職に対して不安を軽減することを目的にしています。また、高校生については、保育等に必要な資格を取得するための大学、短期大学及び専門学校への進学を、進路の選択肢に加えてもらうために実施します。

3 実施日・体験施設

- (1) 令和6年8月5日(月)・第一保育所
- (2) 令和6年8月6日(火)・第四保育所
- (3) 令和6年8月7日(水)・第五保育所
- (4) 令和6年8月8日(木)・伊香保こども園

※実施日の午前9時30分に渋川市役所本庁舎正面玄関に集合、午後2時30分に解散予定

4 内 容

希望する日に希望する施設で、施設見学、保育体験、現役保育士との対話、給食の試食などを体験してもらいます。

※1人1施設限り

5 対 象 者

- (1) 過去、保育の仕事に携わっていて、復職を希望する人
- (2) 市内に在住又は通学する高校生

6 応募方法

氏名・携帯番号・参加希望日を応募フォーム又は電子メールで応募してください。

応募先電子メールアドレスは、「広報しぶかわ」7月1日号と市ホームページに掲載するとともに、市公式LINEなどでお知らせします。

7 申込期間 令和6年7月1日(月)～31日(水)

参考

1 保育のお仕事体験ツアー第2弾について

(1) 実施日・体験施設(1人1日限り)

実施日	体験施設	
	午前	午後
9月2日(月)	北橘幼稚園	第四保育所
9月3日(火)	こもち幼稚園	第五保育所
9月4日(水)	赤城幼稚園	伊香保こども園
9月5日(木)	渋川幼稚園	第一保育所
9月6日(金)	こもち幼稚園	第四保育所

(2) 対象者 指定保育士養成施設の学生

2 保育人材確保に向けた総合的な取組の概要

課題	戦略	取組
保育人材確保	教育・保育施設の採用活動を支援して求人施設と求職者をつなぐ。	○保育人材バンクの運営 【令和6年4月1日～】 ○保育の仕事合同就職説明会 【第1回：令和6年6月30日】 【第2回：令和7年1月26日】
	保育のやりがいと魅力を発信して保育への関心を高める。	○保育の仕事体験ツアーの実施 【第1弾：令和6年8月5日～8日】 【第2弾：令和6年9月2日～6日】 ○保育の仕事やりがい魅力発信ブックの発行 【令和7年1月発行予定】
保育人材育成	保育従事者の研修受講機会を拡大して保育の質と専門性を高める。	○保育人材育成講座の開催 【第1回：令和6年7月18日】 【第2回：令和7年2月上旬】 ○保育スキル向上研修参加の推進 【随時】
保育人材定着	保育従事者の業務負担を軽減して余裕をもって保育に臨めるようにする。	○保育支援者の配置【随時】

■問い合わせ先

育都推進部 部長 角田 義孝(内線1150)

担当：こども支援課(電話0279-22-2415)

課長 野中 文子(内線1201)

保育幼稚園係長 田子 純一(内線1244)

「女性の健康支援セミナー」を市職員を対象に開催します

男女共同参画及び女性活躍の推進を目的として、大塚製薬(株)の協力のもと、女性特有の心身の不調について理解を深めるためのセミナーを実施します。

2回目の開催となる今回は、「女性の健康づくりとこれからの職場づくり」をテーマに、なぜ女性の健康支援が必要なのか知り、誰もが働きやすい職場づくりの実践に向け、それぞれが組織の一員として役立てる内容です。

1 概 要

渋川市は、男女共同参画社会の形成に加え、性別等をはじめとした、年齢、障害の有無、国籍、文化的な背景などといった一人ひとりの違いを尊重する社会の形成を目指して「渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」を制定し、令和6年4月から施行しています。これを契機として、男女共同参画社会の実現及び女性活躍の推進に向けた取組を更に加速させていきます。

その一環として、包括連携協定を締結する大塚製薬(株)の協力のもと、職員に向けて、ライフステージごとに生じる女性特有の体調の変化や健康課題について理解を深めるためのセミナーを開催しています。

このセミナーを通して、女性の健康について、男女が共に高い関心を持ち、正しい知識・情報を得て、認識を深めることにより、女性の健康の保持増進と自分らしく生涯にわたり活躍できる環境の整備に寄与するとともに、組織における働きがいとエンゲージメントの向上を図ります。

2 日 時 令和6年6月28日(金) 午後6時～午後7時

3 場 所 渋川市役所本庁舎3階 大会議室

4 講 師 大塚製薬株式会社 小田内 勇 氏
(（公社）女性の健康とメタボーズ協会認定 女性の健康推進員)

5 テ ー マ 「女性の健康づくりとこれからの職場づくり」
女性特有の健康課題について正しく知り、なぜ女性の健康支援が社会及び組織において必要なのか理解を深め、誰もが働きやすい職場づくりの実践に役立てます。

6 参加対象 希望する職員30人程度
※係長級以上の積極的な参加を歓迎します

7 前回実績

- (1) 日 時 令和6年5月29日(水) 午後6時～午後7時
- (2) 場 所 渋川市役所本庁舎3階 大会議室
- (3) テーマ 女性のホルモンバランスと心身のバランス
- (4) 参加者 27人

参考

1 渋川市と大塚製薬株式会社との包括連携協定

市民の健康増進や地域社会の活性化などにおける本市の課題を克服し、一層の市民サービス向上を図ることを目的に、令和3年8月19日に包括連携協定を締結しました。

同社とは主に、熱中症対策や健康づくりに関する分野で連携し、高齢者や小中学校をはじめとする熱中症予防啓発、健康推進員研修や健康おうえん教室などの事業に取り組んできました。

また、昨年度は、3月1日(金)～8日(金)の「女性の健康週間」に合わせて、女性の健康維持や健康増進に関する情報を一枚にまとめたチラシ「女性の健康週間」を作成していただき、女性活躍の推進に向けて、女性の生涯にわたる健康支援に取り組んでいます。

《連携事項》

- ・生活習慣改善に関すること
- ・食育に関すること
- ・健康づくりに関すること
- ・熱中症及び脱水症予防に関すること
- ・スポーツ振興に関すること
- ・教育に関すること
- ・防災・災害対策に関すること

2 大塚製薬株式会社の取り組み

大塚製薬株式会社は、医薬関連事業とニュートラシューティカルズ(※)事業の両輪で事業展開をしており、日々の健康から未病、そして疾病の治療まで、人々の毎日の、そして生涯の健康をその健康状態に合わせて支えています。

同社はこれまで、県内15の自治体(群馬県、前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、東吾妻町、明和町)と連携協定を締結しており、このうち、群馬県と渋川市では「女性の健康週間」に向けた取り組みを実施しています。

※ニュートラシューティカルズ(Nutraceuticals)

Nutrition(栄養)とPharmaceuticals(医薬品)から作られた言葉で、1989年に米国博士により、人々の日々の健康維持に有用である科学的根拠をもつ食品・飲料をこのように呼ぶことが提唱されました。

大塚製薬株式会社は、1970年代から開発してきた健康維持増進に貢献する自社製品が、本定義に合致することを知り、それ以降消費者製品事業をこの言葉で表現し、世界中の人々をより健康的でアクティブにする製品を提供できるよう、科学的な根拠をベースとした、独創的な製品の開発を行っています。(大塚製薬HPより)

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史(内線2410)

担当：政策戦略課(電話0279-25-8419)

課長 小野 篤史(内線2420)

未来戦略係長 齋藤 大輔(内線2423)

管理職の方

歓迎!

みんなで高めよう

ヘルスリテラシー

女性の健康づくりとこれからの職場づくり

女性の健康は、女性ホルモンと密接な関係があります。月経前の不調をはじめとして、妊娠・出産や更年期などホルモンバランスの変動により女性の体は大きく変化します。

こうした女性特有の健康課題について正しく知り、なぜ女性の健康支援が社会や組織において必要なのか理解を深め、組織の一員としてどのような配慮やサポートができるかを考える機会とします。誰もが働きやすい職場づくりの実践にお役立て下さい。

日時 令和6年6月28日(金) 18:00~19:00

会場 渋川市役所本庁舎3階大会議室

対象 希望する職員30名程度(参加費無料)

講師 小田内 勇 氏

大塚製薬株式会社
大宮支店ニュートラシューティカルズ事業部
女性の健康推進担当 NR・サプリメントアドバイザー
(公社)女性の健康とメノポーズ協会認定 女性の健康推進員



申込方法 下記担当まで庁内メール又は電話でお申し込みください。

申込期限 令和6年6月28日(金) 正午

担 当 政策戦略課 未来戦略係 堀口(内線2423)

(注意) 場合により、延期又は中止とさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

渋川市総合戦略部政策戦略課

協力：大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部北関東支店